

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスに振り回された1年である。葬儀業界もコロナが収まれば、以前に戻るだろうと考えている人もいるが、実は今の状態は10～15年後に起きることを先に見ているだけである。少子化で後を見てくれる人がおらず、親戚もいなくなった状態で葬儀が行われるという状況である。また、お金を使わなくても葬儀はできるということを皆が知ってしまった。
	○	商店街（代表者）	販売量の動き	・駅前立地の商店街のため、新型コロナウイルスの影響で人出は厳しいものがある。ダイレクトメールやインターネット販売の強化等、販売チャネルの多様化でしのいでいる。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数は前年比110%を超える状況であり、コロナ禍にもかかわらず客足は増えており、景気はやや良くなっている。
	○	その他専門店 [酒]（店長）	来客数の動き	・12月に入っても、なかなか景気が上がってくるのが遅かったが、中旬になって非常に良くなったような気がしてきて、年末の今までそれが続いている。来客数が増え、それに伴って高額商材が売れているかということ、なかなかそこまでは言い切れないが、来客数が増えていることは確実である。ただし、今後は全く予測が付かない。
	○	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼数は多く、間に合っていない。
	□	スーパー（経営者）	単価の動き	・巣籠りや買物頻度を減らすため、客単価は上昇している。
	□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・今月は、売上の上下に大分幅があり、良いときは割合良いが、悪いときには極端に悪いような状況で、今一つ何が理由だかつかめず、問題である。読めない状況が続いている。
	□	家電量販店（店長）	お客様の様子	・当市ではプレミアム付商品券の発行などもあり、集客、販売量は伸びている。一方で、客からは減給の話聞く等、景気が良くないと言う人が多い。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検、一般整備は前年同月期とほぼ同じである。客との会話からも、車両販売は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、低迷している。先行き不透明感があり、特に、若い世代にその傾向がみられる。
	□	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前の9月も新型コロナウイルス感染拡大の第2波が騒がれており、Go To 事業が始まっていたものの、人の動きは少なかった。現在は、その頃と同程度の人の動きとなっている。
	□	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・3か月前の9月に比べて12月前半は良かったが、Go To Travel キャンペーンの休止により、売上がどんどん下がってきた。特に、年末の30～31日に関しては、宿泊稼働率が当初の半分になっている。
	□	タクシー運転手	販売量の動き	・地域に新型コロナウイルスの患者が増えるか減るかによって、全然対応が変わってくる。
	□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・降雪もなく天候が安定しているためキャンセルもなく、来場者は確保できている。コロナ禍にあって、できる限りの防御策で対応しているが、平日は年配者の来場が多いので、特に、マスク着用には注意を払っている。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の報道とともに、やや戻りつつあった街の人出も再びぼったりと途絶えてしまい、開店休業状態が続いている。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・スポーツ用品を扱う当店では、新型コロナウイルスの問題はそれほど真剣に考えず安心してきたが、これほど来客数が落ちるとは思っていなかった。こんなに客が来なくなるとは、一体どうなっているのかと不思議なくらいである。

▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地域振興券等の使用は、目的があって購入している場合が多かったため、商品の動きは多少みられている。決済に日数を要するため資金的には苦しかったが、コロナ禍では有り難い。しかし、全体での売上増とまではいかない。
▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数減、買上点数増は変わらないが、徐々に消費マインドが低下している。所得減少が原因のようである。
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で来客数が落ちているのではないかと。具体的な数字でははっきりしているが、ちょっと厳しい。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・年末年始に向けた買いだめのためか、客の買上点数が増加している。また、テレビで商材を紹介したことも影響している。
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響か、新型車イベントの効果も薄く、来客数、販売台数共に伸び悩んでいる。
▲	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染拡大第3波の影響により、予約状況、客足の減速がみられる。
▲	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・プレミアム付商品券等の集客施策はあるものの、動きはかなり少ない。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・月の途中までは予約やフリー客の来店は好調だったが、新型コロナウイルス感染拡大第3波によるGo Toキャンペーンの年末からの停止に伴い、キャンセルが一気に進んでいる。実際は28日からだったが、その前から宿泊キャンセル、Go To Travelとは関係ない飲食にまで自粛の雰囲気が進み、キャンセルが相次いでいる。もちろん、フリー客もほとんどなくなったが、代わりにデリバリー商材がプラスとなっている。ただし、キャンセル分をカバーするまでには至らない。
▲	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず、現状やこの先も不透明なためか、加入、解約共に止まっている。
▲	遊園地（職員）	来客数の動き	・3か月前の9月に比べ、新型コロナウイルスの感染拡大第3波による出控えの様子がうかがえる。また、12月下旬には、年末年始のGo Toキャンペーン全国一斉停止等の報道を受け、ファミリー層や無料の立寄り客が減少傾向となっている。
×	スーパー（経営者）	それ以外	・近くの20代夫婦はリモートワークで仕事をしており、1日中机の前に座っていると奥さんが話している。自宅でパソコンで仕事をして景気も良いとは、そんな世の中なのか信じ難い。11月に見た舞台は観客を半分にして両サイドに人がいなかったのがゆっくり見られたが、興行側としては、収支は厳しいようである。エンターテインメント業界の知り合いに「来年には、元のようになるか」と聞いたが、「令和3年も雲行きは芳しくはない」との返答である。早く新型コロナウイルス禍が収束してほしい。
×	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・来客数そのものが悪い。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・忘新年会は1件の予約もなく、4人以上での会食は控えようと政府が言い出した頃から、フリーの団体客も激減している。Go To Eatのチケットを持った個人客くらいしか来店がなく、チケットの換金までのタイムラグすらしんどい状態である。
×	スナック（経営者）	お客様の様子	・判断理由は全てが当てはまる。当店は飲食店だが、本当にこのご時世、どうしようもない、どこにも当たる場もない状態である。何か良い策があったら教えてほしい。
×	都市型ホテル（支配人）	お客様の様子	・せっかく上向いてきた宿泊予約が、Go To Travelキャンペーン事業が一時停止となったことで、キャンセルが発生している。また、長期滞在、ビジネス利用の不可等、度重なる利用条件の変更により、客側も受け入れるホテル側も、対応に戸惑いを隠せない。

	×	旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大状況やGo To事業の一旦停止により、客の動きが止まっている。
	×	観光名所（職員）	来客数の動き	・Go Toで一時的に回復したものの、新型コロナウイルス感染拡大第3波によるキャンペーンの休止や旅行控えにより、復調傾向だった数か月前よりも業況は悪くなり、いよいよ従業員の賃金にも影響が及んでしまっている。
	×	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルス感染の第2波が収束し、地方の町にもようやくにぎわいが戻り、飲食店等は忘年会でのばん回を心待ちにしていた。その矢先に、第3波が到来し、忘年会も次々にキャンセルとなっている。また、宿泊施設等も、売上確保と感染まん延源になることへの恐怖との板挟みで苦しんでいる。
	×	その他レジャー施設 [ボウリング場]（経営者）	来客数の動き	・忘年会シーズンだが、団体やグループの予約や、利用が全くと言えるほどなく、厳しい状況が続いている。年末年始も外出自粛傾向となれば、更に厳しくなる。
	×	その他サービス [貸切バス]（経営者）	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンも一時中止となり、動きが止まってしまっている。
企業 動向 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最繁忙期を迎え、今月は高い売上目標を設定している。実績は微減ながらも計画に追い付いている状況である。
	○	金融業（調査担当）	受注量や販売量の動き	・製造業は半導体関連を中心に、需要増の動きがみられるものの、低水準である。非製造業は観光関連の戻りが期待されたが、新型コロナウイルスの感染再拡大によって厳しい状況が続いている。
	□	食料品製造業（製造担当）	取引先の様子	・前年と比べて半分以下の飲食店ばかりで、厳しい状態が続いている。
	□	電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先によって、良くなっている取引先とそうでない先がある。
	□	その他製造業 [宝石・貴金属]（経営者）	受注量や販売量の動き	・何とか売上を確保し今年を締めくくるため、催事を毎週続けている。来場者は前年より少ないが、旅行に行かないのでジュエリーを見に来たという客もいて、そうした方々のお陰で、催事売上は前年並みを確保している。ただし、Go To Travelキャンペーンの停止の影響や新型コロナウイルス感染者数増加を受けて、再び客が出歩きのを控えるようになっており、小売店の店頭販売は大幅にダウンしている。相対的な売上は前年比10%ダウンだが、経費面も縮小しており、月間収支はトントンというところではないか。
	□	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響が常態化し、現状を保つのが精一杯である。
	□	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・Go To Travelキャンペーン事業により、県外からの観光客数は一時的に増加したが、新型コロナウイルス感染者数の増加やGo To Travelの一時停止により、キャンセルも増えている状況のため、変わらない。
	▲	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・例年なら年末にかけて、業務店向けの商材が活発になる時期だが、新型コロナウイルスの影響で苦戦している。
	▲	新聞販売店 [広告]（総務担当）	取引先の様子	・年末年始を控え上向きになると思っていたが、新型コロナウイルスの感染が再び拡大傾向で、Go Toキャンペーンの一時中止等の影響で、観光事業、飲食業の取引先からは悲壮感がうかがえる。
	×	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	取引先の様子	・飲食店、ホテル関係の仕事が、印刷業としてほとんどなくなってきており、大変厳しい状況が続いている。
	×	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・店頭販売品、特注品共に、受注が激減している。
雇用 関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	職業安定所（職員）	求人数の動き	・需給調整機能である派遣求人が、少しずつ増えてきたため、やや良くなっている。

〇	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・業種によっては、2～3か月前より求人数は多少増えてきている。全体的には新型コロナウイルスの影響で、景気は低迷しているため、求人広告を掲載してまで募集をする企業はまだ少ない。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・製造業の休業実施状況は、小規模事業所では続いているものの、全体として減少傾向にある。この3か月間では比較的小規模な建設、建築、設備工事業で休業が目立つようになっている。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・企業間格差はあるものの、総じて受注や売上に大きな変動はないと思われる。また、先行き不安が大きく、社員の採用を手控える状況が続いている。
	職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス感染拡大の第3波が、先行き不透明感を強くしている。Go To Travelの一時停止も、持ち直しかけたホテル、旅館、土産物等に大きく影響し、悪化傾向がみられる。
	×	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き